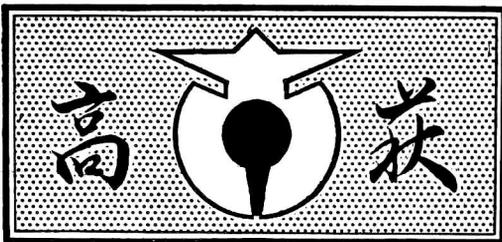


市の人口と世帯数

46. 12. 1. 現在	
人口	29,567人
男	14,488人
女	15,079人
世帯	7,717世帯



第144号

46年12月15日発行

発行 高萩市役所
 編集 市長室
 印刷 藤枝印刷所

晴れの第一回市民表彰

自治功労者など11人1団体

十一月二十三日勤労感謝の日、才一回市民表彰式が市役所大会議室で行われました。

これは高萩市制17周年記念日でもあり、住みよい街づくりのために各分野で活躍された人々を表彰するもので、今回は11人1団体に表彰、ほう賞状と記念品を贈りその功績をたたえました。

市民表彰

沼田保雄さん(82)

高萩四六一 農業

昭和二十三年から二十四年七カ月の間、常設委員として字内の土木行政、農林、河川の補修等に献身的に努力されました。

郷土軍治さん(80)

上手綱二六〇一 農業

松岡蚕糸農業組合長として二十年間活躍され、生産団体の育成と蚕蚕振興に尽力されました。

島村サトさん(76)

春日町二の四六 和裁教授

大正五年和裁塾を開設して五十六年間、和裁の指導にあたり現在もなお続けられています。

佐川亀来さん(76)

大能五六三 農業

昭和十五年から三十一年間、民生委員として担当区内の被保護、要保護世帯の更生に努力されました。

菅野豊稲さん(71)

安良川六六九の二 市傭人

昭和二十八年市役所建設課に傭人として就職十八年六カ月の間、人夫頭として指導監督し、市道の維持補修に専念努力されました。

ほう賞

柴田 勲さん(61)

本町二の一三 商工会勤務

高萩市商工会経営改善普及員、経営指導員として商工業の発展に努力されています。

亘 孝さん(58)

島名二一六一 巡査長

高萩警察署管内各駐在所に勤務し治安維持に尽力されています。

相川 武さん(47)

若栗一三七の二 郵便局員

昭和二十一年若栗郵便局外務員として就職、一貫集配業務に従事働く窓口として活躍されています。

小林正治さん(45)

本町四の一六 自転車店経営

体育指導員、野球審判部長として社会体育振興に努力されています

鈴木朝夫さん(43)

高浜町三の一〇四 国鉄職員

子供会の育成、青少年相談員として補導、相談活動にあたり、市民体力づくりにも努力されています

斎藤雄二さん(20)

上手綱一七四四 日製日立工場

技能オリンピック国際大会で優勝し技能日本の名を高めました。

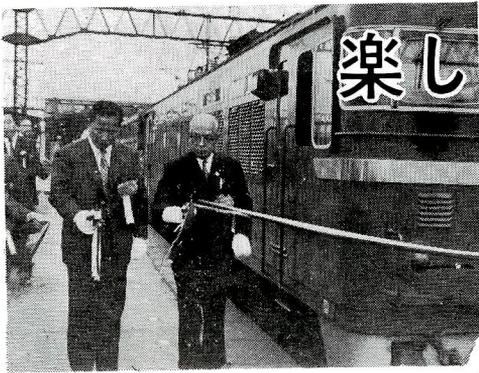
高萩明るい街づくり推進協議会

代表 藤井実さん

環境衛生の美化活動に常々従事しその行為は他の模範であります。



前列左から 村田収入役、島村、郷土、鈴木市長、沼田、菅野、下山田助役
 後列左から 藤井、鈴木、相川、柴田、亘、小林、斎藤、円内佐川の各氏

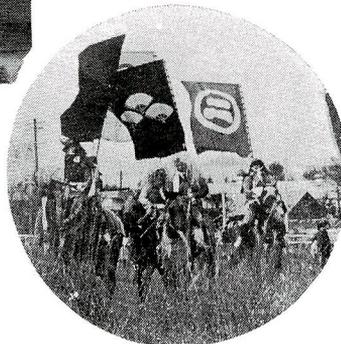


△ 出発式で、紅白のテープにはさみを入れる
鈴木市長と吉田議会議長

楽しかった第2回市民号

11月7日 原町市の野馬追菊人形

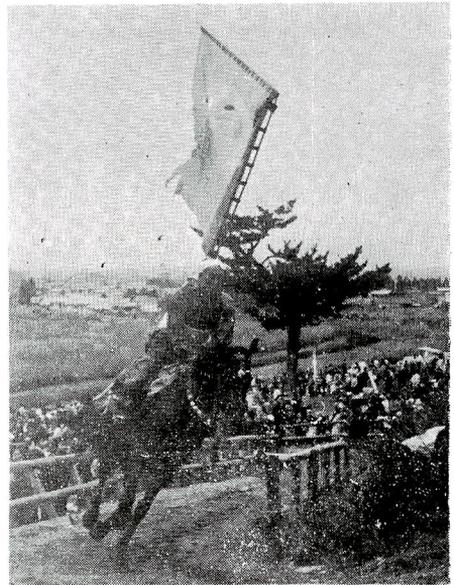
第二回高秋市民号は、楽しいレクリエーションと市民のみなさんの親睦をかねて、二列車千八百人が参加して運行されました。
くもり空の高秋駅を出発して福島県原町市へ、現地は昨夜からの雨もあがりうすれ日のもれる中で、夜の森公園の菊人形を觀賞、またこの日ひばりが原の臨時「野馬追」に集まつた日立市東海村民とともに見物し、帰りの車内ではのど自慢大会を行ない無事高秋駅へ到着、楽しい一日をすごしました。この模様を写真でつづつてみましょう



△ひばりが原に勢ぞろいした騎馬武者
▽相馬野馬追に拍手を送る市民号の参加者
(議長賞Ⅱ 児玉清寿氏撮影)



△夜の森公園の菊まつりを觀賞する市民号みなさん



△神旗争奪戦で神旗をとつて本陣へかけのぼる騎馬武者
(市長賞一福地達定氏撮影)



市民号写真コンクールの表彰

今回は、はじめての市民号写真コンクールを行ない十一月二十一から三日間高秋市中央公民館で催された文化祭に、参加作品八十七点を展示しましたが多数の參觀者があり好評でした。表彰者は次のとおりです
市長賞 福地達定 東本町
議長賞 児玉清寿 本町
木田恒夫 有明町
駅長賞 高橋ちよ子
関野 実 安良川

日本旅行多賀営業所長賞 齋藤暁夫 駒木原

日本加工製紙高秋工場長賞 政井光幸 //

小林敏司 東本町

鈴木秀隆 大和町

商工会長賞 小沢いち 有明町

箕輪たね子 //

観光協会賞 矢野敏男 島名

特別賞 神長 卓 東本町

高橋利男 安良川

市民号にご意見を

市民号についてご意見がありましたらお聞かせください。参加されての感想、今後の市民号の運転、日程と費用、行ってみたいところなど、これからの参考にしたいと考えますので何でも結好です。市役所市民相談係へ郵便でお願いいたします。

二十四人の市議決まる

投票率 八九・五% 前回を下回る

市議会議員の選挙は、十一月二十四日午前七時から午後六時(山手地区は午後四時)まで市内二十五カ所の投票所で行なわれました。引き続き市役所大会議室で午後七時三十分から開票が行なわれ、午後十一時、二十七人の候補者の中から二十四人の新しい市議会議員が生まれ、これから四年間、高萩市政の進展のため活躍されることになりました。

選挙とあつて、有権者の関心も高まり、投票率として福平投票区の一〇〇パーセントをはじめ、全体で八九・五パーセントを示しましたが、前回よりは一・三パーセント下回りました。また、女性の投票率は九

市教育長に長久保厚氏を任命

中央公民館長 下山田尚方氏を任命



長久保教育長



田長山公民館長 下山田尚方

当日の有権者は男九、六五六人、女一〇、二五一人計一九、九〇七人と前回(四十二年)の選挙より九九二人の増加となりました。今回はもつとも身近かな

さる九月二十三日に開かれた定例市議会で、長久保厚氏を教育委員に選任する

これは、前教育長下山田尚方氏が九月三十日で任期

各投票所別状況			
投票区	有権者の数	投票人数	投票率%
第1区	1,535	1,380	89.9
第2区	1,467	1,290	87.9
第3区	3,263	2,906	89.1
第4区	1,634	1,425	87.2
木良	762	692	90.8
原川	2,371	2,109	88.9
滝名	266	248	93.2
山下	811	718	88.5
方	1,118	1,015	90.8
網	579	512	88.4
綱	1,345	1,204	89.5
手	36	36	100.0
手	601	532	88.5
第1区	383	354	92.4
第2区	332	310	93.4
第3区	997	885	88.8
第1区	266	247	92.9
第2区	498	446	89.6
第1区	305	273	89.5
第2区	95	85	89.5
第3区	297	272	91.6
田	226	209	92.4
能	348	322	92.5
川	156	148	94.9
計	216	203	94.0
男	19,907	17,821	89.5
女	9,656	8,495	88.0
合計	10,251	9,326	89.5

有効票数 17,732
無効票数 87
有権者数 21,958

満了となり退職されたためです。

長久保氏は、昭和三年茨城県師範学校(現茨城大学教育学部)を卒業され、同年四月から教壇に立ち、昭和四十三年三月まで、その間松岡町議会議員一年をつとめられたが、四十一年の閑子弟の教育に尽された。学校長としては松岡、櫛形、十王中学校、大津小学校の各学校を歴任された。

(赤浜五、六十三才)

新設された高萩市中央公民館は九月二十五日完成しましたが、初代館長として前教育長下山田尚方氏が十月一日付で任命されました。下山田氏は昭和三十年十一月教育委員に選任され、昭和三十三年五月から教育長として、四十六年九月三十日の任期満了で勇退されるまでつとめられました。(秋山一〇一、七十一才)

市教育委員長に



鈴木 猷氏

さる十月一日の教育委員会で鈴木猷氏に教育委員長に任命されました。

同氏は昭和四十年十月一日から教育委員をつとめておられます。

市長随想



秋晴れの十月十七日、第二回市民体力づくり歩く会が、多数の市民の参加を得て行なわれました。中でも、明治二十五年生まれのおばあさんをはじめ何人かのおとしより達が、

的にさえ思われる動作の持つ意義を、私達はもつと学ばべきものがあるのではないでしようか。最近とすれば断絶とか疎外とかの言葉が用いられ社会全体があせりや相互不信から、殺風景になりがちですが、その原因の一つとして、激しい社会情勢の中で人々が着き着きと、動く個室ともいわれる自動車の普及から、生活形態が閉鎖的、自己本位的になりがちであることが考えられると思います。歩くことによつて生ずる心のゆとり、路上で人と言葉を交すことによつて得られる心のやすらぎ、人を信ずることのたのしみなど、車の生活では味わい得ない貴重な収穫ではないでしようか。



歩くたのしさ

鈴木 藤太

若し人達に負けず元気に先頭を歩き通されたのには敬服させられました。そして歩きながら大能の山神様へ月詣りしたことなど歩くことに親しんだ昔の話聞かせていただき、とかく体力の不足が問題となっている最近の傾向についていろいろ考えさせられました。現代の目まぐるしい社会生活の中で「歩く」という一見反時代的、非能率

つとめる人たち

住所、生年月日、所属政党、職業、市議会議員の任期は何期目、番号は議席番号です。次に今回市議会議員になられての「所信」をうかがいました。

議長

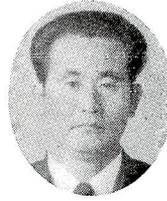


大和田 知之

有明町の二〇、大正三年一月一日、無所属、旅館業五期、二十一番
工業団地の早期完成を期し市財政力の強化と市民福祉の増進に努力します。

文教厚生委員会

総務委員会



近藤 孝一
秋山三八八の二、大正十三年一月三十一日、公明党、食品販売業、二期、七番
公害のない住みよい生活環境と恵まれた社会保障の実現に努力します。

大能三四一、大正十四年一月一日、無所属、農業二期、十五番
市民のよき相談相手となり行政とのパイプ役として懸命に努力してまいります。

正 鈴木 好之
島名一四九、大正三年五月二十三日、無所属、農業六期、十二番
老朽校舎の解消と幼児教育に重点をおき、あわせて市民福祉の向上に努めます。

肥前町の二三二、昭和十七年七月二十五日、日本共産党、会社員、初期、二番
激動する情勢の中で市民の立場にたつて諸問題の解決に全力をつくす決意です。

寺岡 七郎
本町四の八四、大正九年十月二十三日、無所属、会社員、二期、四番
「初心忘るべからず」「日に日に新たに日にまた新たなり」を信条に努力します

正 大久保 清
上手綱一一一、昭和五年三月九日、日本社会党、会社社長、五期、二十三番
高秋市の躍進と、皆さんのご期待にそうべき、一層の努力を傾注して頑張ります



大 部 昭雄
秋山一六四九、昭和二年二月十八日、無所属、農業初期、三番
総合開発を促進し自主財源の増加を図る。年次計画のもとに市道舗装を推進する

大 高 省 三
大和町の七、昭和五年二月二十一日、無所属、質業初期、十七番
議員間の話し合いを通して議会が本当に市民の側にたつて機能するよう努めます

佐 藤 隆一
安良川二七二、大正十四年十月二十六日、日本社会党国鉄職員、二期、八番
市の総合的開発計画を樹立し公害をなくし環境保全し市民生活と健康を守ります

鈴木 一 二
上君田一〇二五、昭和七年二月二日、無所属、製材業初期、十八番
市民本意の市政にするため各層と語り誠実に審議し市民福祉の向上に努めます

道路網の開設と整備
農林業の近代化と過疎対策東地区の排水水路の完備

篠原 新一郎
下手綱七〇四、昭和九年五月二十日、無所属、農業初期、五番
市民の声による市政の確立執行部に対する協力緑を中心とする市の開発

議長に大和田知之氏
副議長に棚谷立夫氏
を選出

10月24日、市議会議員一般選挙によつて、新しく誕生した市議会議員による初議会は、11月29日午前9時から全員出席して開かれました。

▽会議は、最年長の鈴木藤雄議員(七二才)が正式の議長が決まるまで臨時議長をつとめ、議席を指定したあと議長選挙が行われ議長に大和田知之氏が選ばれました。続いて副議長選挙が行われ、副議長に棚谷立夫氏が選ばれました。

▽次に高秋市議会常任委員会の選任が行なわれ上表のような構成になりました。

▽なお各種委員の選出も行なわれ、高秋市及び十王町衛生組合の議員、高秋、北茨城と畜場組合の議員、監査委員を選出しました。

▽つづいて上程議案四件の理由説明と審議が行なわれ昭和四十六年度高秋市一般会計予算の補正として、谷地川下水路改修事業費など一五、〇〇〇千円を追加し総額一、二九〇、八四一、千円とするほか議案三件が原案とおり可決されました。

4年間市議会を

新しく誕生した市議会議員を紹介しましょう。
名前の上の「正」は常任委員長「副」は常任副委員長です。

副議長



棚谷 立夫
秋山二四四、大正五年十一月七日、無所属、米穀業、三期、六番、経済委員会、山手地区の開発と幼稚園の開設、市街地の道路、下水道の整備に努力します。

建設委員会



鈴木 茂
東本町二の七七、昭和八年四月十日、無所属、酒類販売業、初期、十一番
市民の愛いをなくすため明るい豊かな街造りに常に議會は良識の府でありたい。

鈴木 茂
安良川一八、明治四十二年六月十三日、無所属、会社社長、三期、十番
立候補の公約を守り市民の福祉向上と魅力ある街造りに全力投球します。

小山 政男
上手綱一六一五、明治三十九年十二月十六日、無所属、農業、二期、二十番
市民の理解と協力によって道路河川用水路耕地教育施設等の整備に尽します。

吉田 秀吉
高戸二〇五、明治四十四年二月二十五日、無所属、会社重役、六期、十四番、博愛と誠実の精神を忘れず住民すべてが幸福に暮らせる街造りに専心努力します

経済委員会



鈴木 朝記
島名二二五四の一、大正十五年四月二十一日、無所属、農業、初期、二十二番
新しい希望のもてる街造りに全力をつくします。

鈴木 朝記
横川九八五、明治三十四年四月二日、無所属、農業、三期、一番
高萩市議会人として地方自治の究極の目標達成に全力投球いたします。



石 安太郎
春日町二の二五、大正七年十月三十日、無所属、酒類販売業、三期、二十四番、明朗な市議会の確立と「明るい住みよい高萩市」の発展のため努力します。

飯田 邦昭
島名二一五九、昭和八年二月五日、無所属、製麺業、二期、十三番
全身を自治伸展のため打込んで参る覚悟ですからよろしくお願いします。

阿部 正寿
上手綱二八〇二、明治四十一年一月十五日、無所属、会社役員、三期、十九番
地域開発、道路、下水道の整備、学校施設の拡充等明るい街造りにまい進します

鈴木 藤雄
大和町二の一四、明治三十四年一月二日、無所属、酒類販売業、六期、九番
工業、住宅団地、ダム、水道の早期開発、谷地川、高浜下水道の改修に努めます

常任委員会の仕事
常任委員会は、それぞれ
の担当事項についての議
案請願、陳情などの審査
並びに調査をします。
◇総務委員会……市の総合
的な企画、税務、消防な
ど他の委員会に属さない
事項について審議します
◇文教厚生委員会……市民
の保健衛生、福祉、教育
などについて審議します
◇経済委員会……市の農林
畜産、商工観光事業など
産業の発展振興策などに
ついて審議します。
◇建設委員会……市の道路
橋りよう、水道など建設
事業について審議します

◇議会運営委員会
委員長 阿部 正寿
副委員長 大部 薫
委員 寺岡 七郎
近藤 孝一
鈴木 藤雄
鈴木 茂
佐藤 隆一
石 安太郎

◇高萩、北茨城と畜場組合
議会議員(九人)
大部 昭雄
篠原 新一郎
棚谷 立夫
近藤 孝一
鈴木 茂
飯田 邦昭
佐川 安応
大部 正寿
阿部 正寿

◇高萩市及び十王町衛生組合
合議会議員(七人)
寺岡 七郎
鈴木 藤雄
小田 四郎
鈴木 好之
鈴木 一二
大和田 知之
石 安太郎

当日決った各委員は次のとおりです。
◇監査委員(議会選出)
大部 薫

市報アルバム



おおぜいの観覧人でにぎわった
「文化祭」

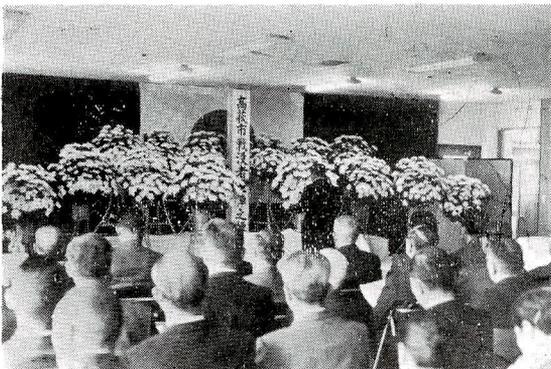
11月2日から同23日まで、中央公民館と春日児童公園において文化祭が行なわれました。中央公民館では盆栽、書道、絵画、写真、人形、短歌、俳句などの展示会、茶道会、農産物の即売会など、春日児童公園では菊花展が催され、連日多数の観覧人でにぎわいました。



中央公民館
結婚式の第一号

記念にヒマラヤ杉を植樹

大安吉日の十一月二十五日完成された中央公民館で最初の結婚式が行なわれました。新郎は齋藤覚さん(23)、肥前町。新婦はガネ勤務、新婦は大友幸恵さん(20)、高浜町の二人で市長から記念品が贈られ、このあと二人で公民館南側に記念のヒマラヤ杉二本を植えました。



しめやかに戦没者追悼式

菊薫る11月17日、恒例の市戦没者追悼式が中央公民館においてご遺族、来賓多数参加のもとにしめやかに行われました。式は市長の式辞、市議会議長、遺族会長、来賓のかたがたから追悼の辞がのべられ参列者一同当時をしのび尊い犠牲となられた御英霊に対し、敬けんな慰霊のまことを捧げました。



180号の大作「県庁」

村田猛さんが市に寄贈

公民館玄関ホールに、日本美術院展入賞、茨城県秀作展選抜作品の日本画が寄贈されました。この絵は村田猛氏によつて描かれ、林の中にレンガ色をした県庁を背景に、たて1.7メートル、横2.2メートルのみごとなもので、公民館利用者の目をひいています。

生活メモ

寒さは日一日ときびしくなってきました。ことしもいよいよ最後の月、くらしの上での年度末です。

歳暮(せいぼ)というのは年の暮とか年末という意味ですがごく昔、年神様と晴れの食事をすることによつてお互の関係を深めるといふ考えかたから始まったもので、本来は、生きていく祖先である親の健康を祝うために正月用のモチや魚を持参したものだそうです。そういうことから、日ごろお世話になつてゐる目上の人や先輩へのお礼心の表現となつて現在に引きつがれてきました。

この歳暮の贈答品に食物が多く選ばれるのは、そういうくらしの上の歴史があるからでしょうか。しかしこれが高じて、もつたからすぐお返しを……と考えるのは少し行きすぎです。お返しは、しばらく間をおいてするのが礼儀というもの。しかもデパートあたりにはまかせて配達させてはお礼心の半分も届けられません。お歳暮が神様とのつき合いから人間関係の潤滑油として今日まで続いている風習は相互の健康と敬意の現われですから「持参」という手数をかけてこそ意味があるわけです。

民生、児童委員きまる

福祉問題についてのご相談を

十一月三十日で任期満了となつた市の民生委員、児童委員は、新たに依囑された八人を含め四十七人の方々が十二月一日付で委嘱され、これから三年間市の福祉事業に協力されることになりました。

老人、母子、児童、身体障害など福祉問題については担当委員にご相談ください。()内は担当地域です
 ▽有賀多喜子(本町一、大和町二) ▽石川信吉(本町二、三) ▽大内輝子(本町四、春日町三) ▽安藤啓次(春日町一、二) ▽佐川光子(大和町一、二) ▽小豆畑隆(大和町三、四) ▽石塚た

み子(東本町一、二、三の一部) ▽渡辺竹彦(有明町一、二) ▽鈴木勝子(有明町三) ▽政井光之助(肥前町、東本町三、四) ▽横山きみ(高浜町一、二) ▽佐藤弘(高浜町三西) ▽杉山きく(高浜町三東) ▽藤田知喜(高浜町日加) ▽沼野義次(安良川七、十一) ▽

森忠義(秋山下四、秋山坑) ▽沼田章(秋山中一、二、福平) ▽大都貞喜(秋山上北方一、二) ▽大須賀幸男(高萩炭坑社) ▽大部英子(秋山上四、五、和野) ▽神永四郎吉(台高萩、駒木原) ▽柴田秋子(行人塚、石河原) ▽国井梅夫(高戸) ▽鈴木タヨ(赤浜) ▽田村義公(上宿、北久保) ▽鈴木己之太郎(下手綱) ▽永山たけ(雉子の尾、石崎)

▽星さと(杉岡、杉内、大工町、小和田、粕内) ▽小松秀子(川内、すだれ、石舟) ▽小山ひさ子(堀の内) ▽中、前の内、二本杉) ▽佐藤享子(千代田、滝の脇) ▽金成、豊栄) ▽鈴木保(千代田) ▽滝五雄(関口、望海) ▽豊田武門(横川) ▽大徳辰雄(下君田) ▽豊田四郎次(上君田) ▽沼田ヨシ(若栗) ▽佐川順一郎(大能) ▽金沢武勇(中戸川)

国体実行委員会が発足

47年に高松宮杯(野球式)

第二十九回国民体育大会高萩市準備委員会が実行委員会に変わりました。二十九回国体が、四十九年に茨城県で開催されるこ

とが正式に決定され、これを機会に県、および会場地市町村ではそれぞれ実行委員会にきりかえられます。高萩市では、十一月十一日

朝、夕の冷え込みが激しくなり、「火」を使うことが多くなつてきました。空気が乾燥してくる季節に加え、この家庭でもストーブやこたつなどの暖房器具を使うため火災の発生率が高くなります。

**いま燃えようと
している火がある**

市中の火災は、今年にわたつて十九件、損害額にして約一千万円にのぼつています。これらの火災発生原因のおもなものは、風呂釜の異常燃焼、油火災、タバコ

命までも奪つてしまふ恐ろしいものです。このような火災を防ぐには、一人が防火意識を高めていく心がけが必要です。

の投げすて、不始末、マツチのいたずら、たき火の不始末など、ちよつとした油断や不注意から出火している場合が多いようです。火災は家や財産を一瞬のうちには灰にしちゃうばかりでなく、人

飲酒運転の追放

年末年始の交通安全運動 12月20日から

年末年始は、交通の混雑に加え、酒を飲む機会が多くなり例年交通事故が多く発生します。少しぐらいならと飲む酒が命とりになり、事故を起した加害者側もまた被害者側も、お正月早々交通事故のため一家が悲しい思いをしなればなりません。このようなことがないようにひとりひとりが交通安全意識を高め交通事故を防止し明るい生活を確立しましょう。

今季も十二月二十日から来年の一月十日まで年末年始の交通安全運動が実施されます。

この交通安全運動は、歩行者等の安全確保と無免許、飲酒運転、スピード違反等の指導取締りの強化を重点目標として実施されます。

なお、道路交通法の一部が改正になり十二月一日から施行され、歩行者保護の規定が整備されましたが、歩行者が正しく道路を利用していたくのが先決です

する歩行者、自転車乗用者運転者などすべての人が交通ルールを守り実践してはじめて防止できる訳です。だれもが交通事故防止運動に協力しましょう。

交通安全スローガン

「かわりめが いちばんあぶない青信号」
 「事故防止 ゆずる心に 待つ心」
 「よい子は よくみて よい横断」

また全体を花でかざり、「明るく、すみよいまちづくり」を推進するようになります。そして昭和四十九年に開催される国体には、遠くから来る選手、役員をまごころこめて歓迎するよう準備したいと思ひますので市民の皆様には絶大なるご協力をお願いいたします

